

第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）及び第2期三原市定住自立圏

共生ビジョン（案）に対する意見内容及び市の考え方について

意見提出人数 10人 26件

1 提出された意見は、第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関するものが6件、第2期三原市定住自立圏共生ビジョン（案）に関するものが1件、両計画に関するものが12件、その他のものが7件でした。意見を踏まえた「第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）及び第2期三原市定住自立圏共生ビジョン（案）」の修正はありませんでしたが、提出された貴重な意見を参考とし、今後の施策の推進に役立てていきます。

2 意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

1	該当箇所	定住自立圏共生ビジョン	
		意見	市の考え方
		<p>交通機関が整っている割には有効活用が出来ていない。</p> <p>広島や岡山に通勤・通学する者に新幹線定期の補助を出すのはどうだろうか。</p> <p>三原なら広い家を比較的安く住める事もあり、他都市からの移住も見込める。</p> <p>新幹線定期の補助を出す自治体は多数あり。</p> <p>埼玉県熊谷市 2万円</p> <p>栃木県小山市 1万円</p> <p>栃木県宇都宮市 1万円</p> <p>群馬県沼田市 2万円</p> <p>群馬県みなかみ市 3万円</p> <p>新潟県湯沢市 5万円</p>	<p>通勤・通学する者に補助を出すことについては、過去に検討をしてきた経緯はあり、他都市の事例も承知しているところです。</p> <p>検討過程においては、コロナ禍により場所を選ばない働き方が浸透する中で、当該補助制度の創設について判断しかねるような社会環境の変化も生じました。</p> <p>また、ご意見をいただいたような移住に関する給付型の補助制度を増やしていくことについては、今後の移住施策のあり方や市として取り組む方向性を含めて判断する必要もあることから、引き続き検討していきたいと考えています。</p>
2	該当箇所	両計画への共通意見	
		意見	市の考え方
		<p>頼兼バイパス降りてからの中央分離帯の撤去。</p> <p>手入れがなく 汚く、車通りの多少に関わらず、反対車線に行けず、街の発展の障害。</p> <p>汚いままずっと放置しており、バイパス出口なのに恥ずかしい。</p>	<p>市道宮浦 34号線の中央分離帯につきましては、車両交通の安全上、撤去することは困難です。</p> <p>しかしながら今後、雑草などが生い茂って車両通行の妨げになる場合や著しく景観を損ねる場合には、除草等を行い交通安全及び景観保全の確保に努めていきたいと考えています。</p>
3	該当箇所	両計画への共通意見	
		意見	市の考え方
		<p>図書館駐車場が、2時間しか無料にならない。ビルが繋がっておらず、移動も考えると3時間は欲しい。学生の利用も多いが大人も有効利用したいのでお願いします。</p>	<p>2時間という無料時間の設定は、図書館での一般的な滞在時間を考慮したもので、長時間駐車抑制や、多くの利用者が駐車スペースを利用できるようにするためですので、ご理解をお願いします。</p>

該当箇所	両計画への共通意見	
	意見	市の考え方
<p>4</p>	<p>「第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「三原市定住自立圏共生ビジョン」を拝読しました。</p> <p>今後の三原市の人口の推移や今までの取り組みなど詳しく記載しており、三原市民として三原市のこれまでの取り組みに対して敬意を表したいと思います。</p> <p>主に前者の「創造総合戦略」について、私の考える取り組みについていくつか拙いものですが提案をしたいと思います。</p> <p>定住誘導政策に関連して企業の誘致、特にIT企業の誘致について述べてあります。しかし、達成状況はDとなっています。この取り組みは他の多くの自治体も同様に行っていると思われま。そこで、思い切って全く別の視点から定住誘導政策を考えてみたらどうかという提案であります。</p> <p>1 「文化・芸術の町 三原」を創造し全国に売り出す</p> <p>現在、三原市ではいくつか定住誘導政策はとられていますが、文化・芸術の町の創造を目指してみたらどうでしょうか。三原市には筆影山や竜王山など美しい瀬戸内海を見下ろせる山がありますし、須波から幸崎まで美しい海岸があり、それを文化・芸術の創出の資本と考えます。</p> <p>例えば、この景観や仏通寺の紅葉などを描く芸術展を開く。そのために、県外からも三原市に来ていただき、2～3日民泊をしてもらい絵を描いてもらったり、三原市の風景を主にした写真展を後日開いたり、また三原の海や景色をテーマにした俳句や短歌の会でも良いでしょう。さらに短編映画・動画でも良いし、音楽作品でもよいでしょう。(短編映画・動画や音楽作品ならポポロで出来た作品を上演してもらおう)</p> <p>そして、そのためのホームステイの候補を一般市民に募ったらどうでしょうか。(何年前、有名人が民泊する「田舎に泊まろう」というTV番組がありましたが、そのノリであります。さらに三原TV、FM三原、中国放送などに協力をお願いしPRのための番組を作ってもらおう。)</p> <p>さらに若い芸術家に定住してもらうために、空き家を利用し毎年数か月～半年住んでもらおう。(一種の別荘兼仕事場であります)そして、</p>	<p>三原市の美しい景色や豊かな自然は、人々に感動を与え、その感動は「資本」となり文化芸術として表現されます。</p> <p>市では、文化芸術を発表・鑑賞する機会を提供するため、三原市美術展覧会、市民音楽祭などの取組を継続していきます。</p> <p>また市が発信する三原の魅力に共感した市民や企業が、自発的に情報発信することで、多くの話題が市内外に伝わり「話題のあふれるまち三原」としていければと考えています。</p> <p>市の景観を活かして文化・芸術のイベント等を開催し、民泊をツールとし、市外の方と市民との交流を深めるという提案については、今後の参考にさせていただきます。</p>

	<p>マスコミだけでなくボランティアの応援隊が、SNS など使い三原の文化・芸術の活動を全国に発信するのです。</p>	
5	<p><b>該当箇所</b></p>	<p><b>両計画への共通意見</b></p>
	<p><b>意見</b></p>	<p><b>市の考え方</b></p>
	<p>2 ブランド品を創造する</p> <p>お菓子、料理など食べ物のブランド品を創造する。そのための作品の展示会・試食会を開き、三原市としてすぐれた物には商品化をめざす支援をします。その商品化のために地元企業に協力を依頼します。時々新聞紙上で、高校生が作ったお菓子や料理が商品化した話が載りますが、このような企画に三原市以外の人々にも参加できるようにし、毎年開催して、この活動を三原市として支援し盛り上げたらどうでしょうか。</p>	<p>本市では、三原の食材を使用して作られた「広島みはらプリン」を通し、三原の食の魅力を情報発信しています。三原の食材を使用していれば市外の店舗も参加することができ、令和6年度末で参加店舗は44となっています。今年2月の神明市では駅前でプディングフェスティバルが開催され、コンテストも実施されるなど、市内外からの多くの来場者で賑わいました。</p> <p>また、令和6年度には、中心市街地活性化を目的として、本市ふるさと大使である熊谷 喜八氏の監修を受けて、地元食材を活用した商品やメニューを開発販売する市内事業者（2団体）に補助を行いました。</p> <p>今後もこのような取組を通じ、三原の食の魅力を発信していきたいと考えています。</p>
6	<p><b>該当箇所</b></p>	<p><b>両計画への共通意見</b></p>
	<p><b>意見</b></p>	<p><b>市の考え方</b></p>
	<p>3 「神明市」や「やっさ祭り」を定住誘導政策に活用する</p> <p>「神明市」や「やっさ祭り」を一時的な祭りで終わるのではなく、三原市への定住に繋がるような企画を行えないでしょうか。</p> <p>例えば、写真、アニメ、テーマソング、動画制作などを市外や県外の人にも募集して、優秀な作品を表彰・展示するだけでなく、作品をマスコミだけでなく、三原市民の応援隊がSNSなどを利用して、広く公報活動をします。そして表彰者には、「(仮称) 三原市民大使」になってもらい、三原市のPR活動に協力してもらう。(企業などに勤務している人は名刺に「(仮称) 三原市民大使」の肩書を記入してもらうなどです)</p>	<p>祭りを軸とした交流人口、関係人口の創出につきましては、中心市街地を中心に空き店舗を活用した地域商業の振興やイベントを通じた賑わい創出に取り組んでいる株式会社まちづくり三原が、訪問者に祭りの担い手となってもらい、三原を“第2のふるさと”として再訪してもらえる取組を進めています。</p> <p>具体的には関係人口創出のための分散型自立組織「MACHIDUCREW DAO」というデジタルコミュニティを構築し、祭りの運営補助などの課題(クエスト)を実施することでポイント(YassaCoin)を受領し、そのポイントを使って三原市内での消費行動することで、三原市との関わりを深め、その関係性が深まることで定住につなげていくというものです。本市も株式会社まちづくり三原の取組を支援しており、祭りという媒介を通じ、観光消費増加と関係人口創出を両立するモデルを構築したいと考えています。</p>
7	<p><b>該当箇所</b></p>	<p><b>両計画への共通意見</b></p>
	<p><b>意見</b></p>	<p><b>市の考え方</b></p>
	<p>4 NPO、ボランティア団体の組織を育てる(若者だけでなく高齢者も巻き込む)</p> <p>三原市市役所の予算も人員も限られている</p>	<p>現在、ボランティアや市民活動団体の支援を行う業務を、三原市社会福祉協議会に委託し、三原市ボランティア・市民活動サポートセンタ</p>

	<p>中、全ての計画を市役所の職員で行うのは到底不可能であります。そのため、出来るところから NPO やボランティア団体の育成が必要であります。NPO やボランティア育成には三原市内の中学・高校生や県立大学にも働きかけてみます。(AOの大学入試では、ボランティア活動は評価してもらえます)</p> <p>また、高齢者も市民大学で趣味の活動をすることで完結するのではなく、高齢者にも三原市を活性化するための活動(例:「やっさ祭り」や「明神市」で作品の出典・発表など)に参加してもらいます。更には、三原市は次に述べる起業につながるような様々な講座の創設をする。そうして、これらのことが、次に述べる起業に繋がると思います。(高齢者を消費者から文化・芸術の生産者へ)</p>	<p>一を設置しています。ボランティアの募集、調整などを担うとともに、さまざまな活動の相談に応じています。</p> <p>ボランティアの派遣について、学生を希望される場合もあるので、必要に応じて学校への働きかけも行っています。また、高齢者についてもサロンの支援や各種ボランティア講座への参加など、積極的に活動を行っている人がいる状況です。今後も個人のボランティア活動の支援及び団体の育成に努めていきたいと考えます。</p> <p>みはら市民大学は、高齢者が時代の進展に対応しながら自らの生きがいを求めて学習し、学習の成果を地域住民に還元することで、心豊かな生活を実践できるよう設置しており、また、コミュニティセンターなどで実施している生涯学習は、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としています。</p> <p>これらの講座は自ら学ぶこと、自主的な活動を促進し、まちづくりや社会貢献について促進しています。なお、起業につながる講座としては、次の意見8に対する回答のとおりです。</p>						
8	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="225 1059 416 1126">該当箇所</th> <th data-bbox="416 1059 836 1126">両計画への共通意見</th> </tr> <tr> <th data-bbox="225 1126 416 1193">意見</th> <th data-bbox="416 1126 836 1193">市の考え方</th> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1193 416 1778">5 若者に起業の支援 IT企業を誘致する活動ではなく、商工会議所などと連携し、若者の起業を支援する活動をする。その場所として、使わなくなった公共施設や学校の建物の一部、あるいは空き家を提供するのはどうでしょうか。起業の支援をすることを売りにして、全国の若者に「三原に来て起業してみませんか」と訴えてみたらどうでしょうか。良いアイデアがあり、時代のニーズに合っていれば、起業は一人または数人のグループで出来ます。三原市はその後押しをします。また、講師を招き、まずは三原市民のために「起業のための市民大学の講座」を開くことから始めても良いと思います。</td> <td data-bbox="416 1193 836 1778">市では、令和3年度から「スタートアップ創出シティカレッジ」を開講して、新たな起業や社内ベンチャー等を志す人材に学びの場を提供するとともに、実際に新たな事業が動き出すまでを支援しており、毎年10人程度が受講し、卒業生の中から、実際に起業する人も多数生まれています。 また、空き店舗を活用して新たに事業を始める方へは、別途、家賃や改装費を支援する制度もあります。 使わなくなった公共施設等は売却する方針ですが、立地や建物の構造上、事業での活用に向かない面もあり、そのまま活用いただくことは難しいものと考えています。</td> </tr> </table>	該当箇所	両計画への共通意見	意見	市の考え方	5 若者に起業の支援 IT企業を誘致する活動ではなく、商工会議所などと連携し、若者の起業を支援する活動をする。その場所として、使わなくなった公共施設や学校の建物の一部、あるいは空き家を提供するのはどうでしょうか。起業の支援をすることを売りにして、全国の若者に「三原に来て起業してみませんか」と訴えてみたらどうでしょうか。良いアイデアがあり、時代のニーズに合っていれば、起業は一人または数人のグループで出来ます。三原市はその後押しをします。また、講師を招き、まずは三原市民のために「起業のための市民大学の講座」を開くことから始めても良いと思います。	市では、令和3年度から「スタートアップ創出シティカレッジ」を開講して、新たな起業や社内ベンチャー等を志す人材に学びの場を提供するとともに、実際に新たな事業が動き出すまでを支援しており、毎年10人程度が受講し、卒業生の中から、実際に起業する人も多数生まれています。 また、空き店舗を活用して新たに事業を始める方へは、別途、家賃や改装費を支援する制度もあります。 使わなくなった公共施設等は売却する方針ですが、立地や建物の構造上、事業での活用に向かない面もあり、そのまま活用いただくことは難しいものと考えています。	
該当箇所	両計画への共通意見							
意見	市の考え方							
5 若者に起業の支援 IT企業を誘致する活動ではなく、商工会議所などと連携し、若者の起業を支援する活動をする。その場所として、使わなくなった公共施設や学校の建物の一部、あるいは空き家を提供するのはどうでしょうか。起業の支援をすることを売りにして、全国の若者に「三原に来て起業してみませんか」と訴えてみたらどうでしょうか。良いアイデアがあり、時代のニーズに合っていれば、起業は一人または数人のグループで出来ます。三原市はその後押しをします。また、講師を招き、まずは三原市民のために「起業のための市民大学の講座」を開くことから始めても良いと思います。	市では、令和3年度から「スタートアップ創出シティカレッジ」を開講して、新たな起業や社内ベンチャー等を志す人材に学びの場を提供するとともに、実際に新たな事業が動き出すまでを支援しており、毎年10人程度が受講し、卒業生の中から、実際に起業する人も多数生まれています。 また、空き店舗を活用して新たに事業を始める方へは、別途、家賃や改装費を支援する制度もあります。 使わなくなった公共施設等は売却する方針ですが、立地や建物の構造上、事業での活用に向かない面もあり、そのまま活用いただくことは難しいものと考えています。							
9	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="225 1778 416 1845">該当箇所</th> <th data-bbox="416 1778 836 1845">両計画への共通意見</th> </tr> <tr> <th data-bbox="225 1845 416 1912">意見</th> <th data-bbox="416 1845 836 1912">市の考え方</th> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1912 416 2098">6 災害に備えた街づくり 近い将来南海トラフが起きると言われています。災害時に他府県から避難を希望する人がいれば、その人々を受け入れ、できればそのまま三原市に定住してもらおう。そのために、寝袋</td> <td data-bbox="416 1912 836 2098">過去の大規模災害(東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等)では、被災された方に市営住宅の無償提供の受付を行いました。そのまま、本市に定住されたご家族もいます。今後も、必要に応じて、市営住宅等の提供を行っていく方</td> </tr> </table>	該当箇所	両計画への共通意見	意見	市の考え方	6 災害に備えた街づくり 近い将来南海トラフが起きると言われています。災害時に他府県から避難を希望する人がいれば、その人々を受け入れ、できればそのまま三原市に定住してもらおう。そのために、寝袋	過去の大規模災害(東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等)では、被災された方に市営住宅の無償提供の受付を行いました。そのまま、本市に定住されたご家族もいます。今後も、必要に応じて、市営住宅等の提供を行っていく方	
該当箇所	両計画への共通意見							
意見	市の考え方							
6 災害に備えた街づくり 近い将来南海トラフが起きると言われています。災害時に他府県から避難を希望する人がいれば、その人々を受け入れ、できればそのまま三原市に定住してもらおう。そのために、寝袋	過去の大規模災害(東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等)では、被災された方に市営住宅の無償提供の受付を行いました。そのまま、本市に定住されたご家族もいます。今後も、必要に応じて、市営住宅等の提供を行っていく方							

	や簡易ベッドなどの災害対策を十分に備えておく（経費の問題はあるが、三原市出身の中堅の企業の役員に災害用グッズの提供を安く求める。そして三原市の発展に協力して下さった企業として、市の公報などに掲示する。）	針です。
	<b>該当箇所</b>	<b>両計画への共通意見</b>
	<b>意見</b>	<b>市の考え方</b>
10	<p>6 外国人と共生できる町</p> <p>今後日本の社会の中で暮らす外国人が増えていくことが予想される。日本語学習の支援などが必要であります。さらに、一部の他府県で見られるような地域住民とのトラブルが起らないようにするために、外国人が日本の社会に溶け込み、日本社会の一員として暮らせるような施策が必要であります。この活動もNPOやボランティア団体を中心になって行い、日本人と行事を共に行い交流を持てるように、市が誘導していくことが必要であると思います。</p> <p>例えば、三原市在住の外国人に出身の国の料理・芸能・手作りの作品を紹介してもらい、日本人との交流を図ることが考えられます。三原市にある公民館を利用すれば良いと思います。</p>	<p>本市に住む外国籍市民が地域に溶け込み、安心して生活できるようになるためには、日本語でコミュニケーションをとれることが求められます。そのため、市内では、日本語学習を希望する外国籍市民向けの日本語教室が複数運営されています。これらの教室は、地域の公民館などで有志によって運営され、学習する人の日本語レベルや目的（日本語能力検定試験受験、日常生活など）に応じて日本語を学ぶことができます。</p> <p>また、教室に通う外国籍市民や学習支援者ら地域住民との交流の場にもなっており、日本語学習だけでなく、ネットワークづくり、日頃の困りごとの相談や地域イベント等の情報収集・交換などが行われています。</p> <p>市は、これらの日本語教室に対して、開設や運営に関する補助制度の紹介、学習教材、生活関連情報の提供などを通して、今後も継続的に支援することで、外国籍市民の地域での安心した生活の実現をめざしていきます。</p>
	<b>該当箇所</b>	<b>両計画への共通意見</b>
	<b>意見</b>	<b>市の考え方</b>
11	<p>7 最後に</p> <p>繰り返しになりますが、以上述べたような活動をすべて三原市役所職員がするのは不可能であります。したがって、様々なNPOやボランティアの育成を促し、三原市はその運営の監督や助言、各団体の掌握や取りまとめをすれば良いと思います。</p> <p>つまり、行政に「おまかせ」の姿勢から、一般市民が三原市の創造に参加することで、三原市に愛着と郷土愛を感じる社会にすることです。このことで魅力ある三原市になり、人々も少しずつ集まってくる三原市になるのではないのでしょうか。</p> <p>三原市はかつて帝人・三菱重工という大企業が三原市の発展を支えてきました。しかし時代はすっかり変わりました。これからは文化・芸術活動のようなソフトパワーも人々が集まり、</p>	<p>本市の第2期シティプロモーション戦略において、今ある情報を発掘・深掘りし、市内外に共感が得られるまちの魅力として、市民や企業、市役所による総力戦で情報発信することに重点を置くことにより、三原の魅力が市内外から共感され、「話題あふれるまち三原」として市民のまちへの愛着や誇りに繋がると考えています。</p> <p>文化・芸術においては、令和元年11月に設立した一般財団法人みはら文化芸術財団が文化活動を担う人材育成及び確保に関する事業を行っており、今後、育成事業が発展・拡大していくよう、連携して取り組んでいきます。</p> <p>NPOやボランティアについては、市民協働のまちづくりの担い手として、現在でも様々な活動をしています。三原市ボランティア・市民活動サポートセンターにおいて、育成や活動の支</p>

	<p>そして定住促進することに役割を果たすことがあると思います。例えばイギリスは国の経済が傾いても、「英語」「シェークルピア（原文ママ）」「ビートルズ」がソフトパワーとなり、世界中から人々が集まってきます。</p> <p>文化・芸術というソフトパワーを軸に据えた町づくりを目指してみたらどうでしょうか。そして、三原市はそのためNPOやボランティアなど人材育成の支援をしてみたらどうでしょうか。</p>	<p>援を行っており、今後も、魅力ある三原市に向けて、NPOやボランティア等多様な主体が活躍できるように、市民協働のまちづくりを進めていきます。</p>
	<p><b>該当箇所</b>      <b>両計画への共通意見</b></p>	
	<p><b>意見</b></p>	<p><b>市の考え方</b></p>
12	<p>PS：一つお願いがあります。それはIT企業の誘致に関してです。誘致するのは日本の企業にしてほしいということです。外国、特にアジア地域からの誘致には慎重になってほしいのです。アジアの某国から企業の誘致をした場合、日本人ではなく自国民をIT技術者として派遣し、日本人の雇用創出には繋がらないことも懸念されます。そして先に述べた外国人コミュニティが出来て、日本人社会との無用なトラブルが起きることが心配されるからです。</p>	<p>市が公有地へ企業を誘致する際には、雇用人数や設備投資予定額など、複数の観点による審査項目を設け、総合的に判断しています。特定の国籍を排除する考えはなく、従業員とともに三原市に馴染んでいただける企業であることを重視しています。</p>
	<p><b>該当箇所</b>      <b>第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略</b></p>	
	<p><b>意見</b></p>	<p><b>市の考え方</b></p>
13	<p>デジタルの力を活用して、地域創生を加速化・深化させるというところに注目しました。</p> <p>教育分野でのさらなるICT活用をしてほしいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AIドリルや個別最適化学習ツールの導入 → 子どもたち一人ひとりの理解度に応じた学習支援が可能に。</li> <li>・ 地域の歴史・自然をテーマにしたSTEAM教材の開発 → 郷土愛を育みながらICTリテラシーも向上させる取り組み。</li> </ul>	<p>デジタルの力を活用した地域創生に関して、特に教育分野におけるICT活用について、ご提案の「AIドリル等個別最適化学習ツールの導入」と「地域テーマのSTEAM教材開発」は、本市においても大変重要であるにとらえています。AIドリル等は、現在、一人一台端末を活用し、同様のものを導入し活用しているところです。AIが採点を自動で行うだけでなく、間違えた問題の補習問題を提示してくれます。地域STEAM教材開発については、三原市では総合的な学習の時間等において、教科横断的に学びを展開していく上で、地域連携による学びを進めているところです。また、コミュニティ・スクール推進事業を活用し、各学校で地域や保護者に協力を得ながら学習を行っています。</p> <p>ご提案を踏まえ、本市の教育発展に向けて取り組んでいきます。</p>
	<p><b>該当箇所</b>      <b>第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略</b></p>	
	<p><b>意見</b></p>	<p><b>市の考え方</b></p>
14	<p>あとは、地域創生として、インフルエンサーの存在が必要と感じます。</p>	<p>三原市の魅力について、市内外から共感されるよう市からの情報発信や市民や企業等の自発</p>

	<p>例えば、古民家カフェ&amp;宿「むすび」は、地域の魅力を発信していると思いますが、三原市の魅力を広く発信していくためには、インフルエンサーの存在が重要となると思います。</p> <p>インフルエンサーを三原市に招き入れる もしくは、三原市からインフルエンサーを輩出していく必要性を感じます。</p>	<p>的な情報発信で広く周知に努めています。近年、自治体でもインフルエンサーが注目され、活用するメリットとしては広範囲への情報発信、親近感・信頼感の向上、地域活性化への貢献などに期待できます。</p> <p>しかしながら、市の理念や価値観と、インフルエンサーの価値観の相違、市の施策のターゲット層とインフルエンサーのフォロワー層の相違、またコンテンツの内容や表現等においても適切であるかなど注意する点は多くありますので慎重に検討していきます。</p>
--	---	---

15	<p>該当箇所</p>	<p>第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>
	<p>意見</p>	<p>市の考え方</p>
	<p>コメントさせていただきます！ 三原市としての向かいたい方向が概ね理解できてとてもよかったです。 建築課さんに対しては、もし可能であれば、特定空き家の基準値を下げ、解体の補助が受けやすくなるとより美装化が進みそうだなと思いました。(人員不足なのは重々承知の上で、あくまで一意見としてです) また、地域企画課さんに対しては、移住促進の観点から、空き家バンクの補助について、ご自身で家を修繕される方が増えていることから、補助金を個人で家の修繕のために購入する材料費にも当てれると嬉しいなと思いました。  以上です！よろしくお願い致します！</p>	<p>「三原市空家等対策計画」において、空家等対策の推進に関する特別措置法第2条第2項の規定に基づく特定空家等の認定基準を定めており、保安上の危険性が高い特定空家等について、国費を活用した除却費用の補助制度を設けています。本制度は危険性の高い空き家の除却促進を目的としており、認定基準を緩和することは困難であると考えていますが、国の制度の動向等を踏まえ、補助対象の拡大について研究していきます。</p> <p>現行の「三原市空き家改修等支援事業」において、改修費に係る補助金を交付していますが、この制度の中で、「市内の事業者等から購入した材料を使用し、自らが施工するもの」を対象としており、材料費にも補助金を充当することが可能となっていますので、ぜひご活用いただきますようお願いいたします。</p>

16	<p>該当箇所</p>	<p>両計画への共通意見</p>
	<p>意見</p>	<p>市の考え方</p>
	<p>少子化が進んでいるのに、三原市では不登校の中学生は1割もいます。子供達も保護者も行ける学校があったら行きたいと思っています。 現状、鷺浦小学校では、学校に行けなかった子も行けるようになっていきます。そんな中学があったら、多くの子が救われると思います。 それは三原市だけでなく、全国も困っている人が沢山います。又、都会から農業をやりたい人も沢山います。佐木島では、高齢化が進み、農業の担い手不足が課題となっています。 一般の学校のような勉強重視の学校ではなく、自然の中で、自由にのびのびと成長できる小学校中学校があれば、都会から家族ごと移住してくる人もいます。そうすれば、空き家</p>	<p>中学校には、鷺浦小学校のような小規模特認校はありませんが、希望する隣接学校に入学できる隣接校制度や、やむを得ない事情により教育的配慮が必要な場合には、就学学校を変更できる制度があります。また、学校に登校することが難しい不登校傾向や不登校の児童生徒には、学びの場の提供として、教育支援センターを3地域に、校内教育支援センター及びスペシャルサポートルームを7中学校に設置して様々なニーズに対応できるよう制度や環境の整備に努めているところです。 少子化が急速に進む中、今後の小中学校の適正配置について検討しなければならないと考えています。その中で、本市における中学校の特</p>

	を活用し、農業の継承も可能になるのではない でしょうか？	認校制度の必要性等、中学校においてもよりよ い環境で学ぶことができるよう、研究してい きます。
	該当箇所	—
	意見	市の考え方
17	<p>素晴らしい検討をありがとうございます。私 から1点です。</p> <p>①地方に仕事をつくる      において、三原市からの特にデジタル系業務の      発注について、域内調達率、域内調達額を目標      に加えて欲しいです。</p> <p>理由は</p> <p>1、もしデジタル産業をさらに伸ばしていくの      であれば、その業務を受けられる企業を増やす      べきです。その仕事をしたいと思える若い世代      を三原に残す支援をして欲しいです。</p> <p>2、外部に頼ればお金が出ていだけで、三原      に何も残らないです。もちろん東京やアメリカ      の企業に比べればレベルは初めは劣ります。た      だし、外部のイノベーションコーディネーター      や大企業は三原市のことを顧客としか思っ      ていない企業が大半です。(本当にその人がフル      コミットで三原に携わりたいなら、三原に住      み、三原のことを24時間考える仕事をし、三      原からお金をもらう、という行為はしないでし      ょう。むしろ三原にお金を持ってくる活動をす      るはずです)。その人たちに業務を出していく      と、一見、仕事は進んだようでも、何も三原に      残りません。辛抱する時間も必要と思いますが、      SCCなどの取り組みを含め起業家を育てる      投資として進めて欲しいです。残念ながら地域      の情報システム系企業の水準はあまり高くあ      りませんので、あくまで起業家を育てる視点で      の提言になります。</p> <p>デジタル産業はどこでもできる仕事が多い      ため、地域外への資金流出が起りやすい業種      です。ここをまずしっかり内製化できるように      して欲しいです。</p> <p>外部のコンサルタント(イノベーション支援      企業など)や大企業は、私も業務として経験し      てきたのでわかりますが、各地域に興味はあり      ますが、本当に全力でやる方はいらっしゃいま      せん。もしそうであれば、その人がすでに行動      で示し、移住もするはずで</p>	<p>市の業務を発注する際は、域内(市内)事業      者を優先することを原則としており、デジタル      系業務についても同様です。域内調達率や域内      調達額を目標にはしていませんが、市内事業      者を優先することは、域内調達率や域内調達額      の向上に向けた取組であると考えています。</p>

	ぜひ未来の三原のために域内調達について目標に加えていただけると幸いです。	
18	該当箇所	第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略
	意見	
	市の考え方	
	1. 三原港湾再生の一環として港湾周りに市民・観光客等の憩いの場所として河津桜を植林して欲しい。	<p>三原内港は市中心部にあり、中心市街地のにぎわいづくりに向けて、回遊性の向上や来街者・滞留人口の増加促進に取り組む必要があります。</p> <p>現在、三原内港のターミナル及び緑地の設計に取り組んでいるところであり、ご提案いただきました植栽については、施設整備を担う広島県へ地域の意見として伝えます。</p>
19	該当箇所	第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略
	意見	
	市の考え方	
	2. 陸海空の拠点の一環として瀬戸内浪漫街道（海道）JR 呉線にSLを走らせる為の協議会の設立を各自治体（尾道・三原・竹原・東広島・呉）とJRで行えないですか、是非検討お願いします。	<p>JR 呉線の利用促進につきましては、沿線自治体である三原市、竹原市、東広島市、呉市が「瀬戸内さざなみ線利用促進委員会」を組織し、呉線利用促進のための事業に取り組んでいます。</p> <p>ご提案いただいたSLの運行につきましては、非常に魅力的な観光コンテンツではありますが、車体の購入や運行・メンテナンスにかかる膨大な費用、脱炭素化を目指す中での黒煙による環境汚染やエネルギー効率の悪さ、運用費用を回収できる収益が見込めないなど多くの課題が考えられます。以上のような状況から呉線でのSL運行は困難と考えており、今後も引き続き「瀬戸内さざなみ線利用促進委員会」での活動を通じて呉線の利用促進を図りたいと考えています。</p>
20	該当箇所	第3期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略
	意見	
	市の考え方	
	3. 瀬戸内浪漫眺望が素晴らしい竜王山・筆影山の森林整備に力を入れて欲しい。	<p>竜王山・筆影山の景観維持や観光客の安全のため、現地を確認し枝打ち等を行っており、観光地の魅力向上のため、引き続き対応していきたいと考えています。</p>
21	該当箇所	—
	意見	
	市の考え方	
	人口減少に対応 三原市に限らず、日本全体で人口減少になるので、外国人の定住を進めることは基本政策の一つになっていくものと考えられます。その時三原市は他市に遅れをとってはいけないと思います。	<p>定住を進めるには、外国籍市民にとっても住みやすいまちとなる必要があると考えています。そのため、まずは言語の壁を取り払うため、外国籍市民が日本語を学べるよう、市内で運営されている日本語教室の開設・運営を引き続き支援します。これらの日本語教室では、地域の</p>

<p>現在三原市に定住している外国人は、工場労働者、学校の外国語教師などなのでしょうが、これからは看護師、介護士、農業労働者も定住対象者になると思います。他にも、もっと多様な職業を持つ人が定住対象になるかもわかりません。三原市は他市に比べてより定住し易い町にしなければならないと考えます。どうすればそうなるか政策を考えて頂きたい。</p> <p>私が思いますには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の勉強を受けやすくする。教科書を見ながら教えるだけでなく、地域社会の中で話をしながら教わってもらうように機会をつくる。シルバー人材センター主導で、沢山おられる高齢者を中心に活動されることでもよいのではないのでしょうか。資金面は「ふるさと納税」や「クラウドファンディング」が活用できないのでしょうか。</li> <li>・他市に比べて、「安心して生活できる」「安心して子育てできる」三原市にすべく努力して欲しいです。</li> </ul> <p>いずれも具体的ではありませんが、他市の成功例を三原市用にアレンジすることから始めてはいかがでしょうか。他市のものをそのまま真似るのではなく、三原市でもっとよりよいものになるように、変化を加えることをするなど、知恵を出してはいかがでしょうか。</p>	<p>有志によって、学習者の希望や目的に応じて日本語学習を支援しており、学習だけではなく、ネットワークづくり、日頃の困りごとの相談や地域イベント等の情報収集・交換の場にもなっているため、日本語学習支援だけではなく、外国籍市民の生活を支える重要な役割を担っています。これらの日本語教室の開設や運営に引き続き関わり、より良い学習支援や生活支援ができるようにしていきたいと考えています。</p> <p>また、生活に関する不安を解消できるよう、外国籍市民と日本人市民の相互理解を促進したいと考えています。これまで、市の国際交流員を中心に交流イベントを実施したり、地域住民が主体となった交流イベントが開催されるなど、様々な機会を設けてきましたが、引き続きこうした機会を設け、住民同士が交流できるきっかけを作りたいと考えています。</p> <p>昨年度、本市を含む備後圏域で策定した「びんご圏域多文化共生推進ビジョン」において、今後増加が見込まれる外国籍市民が安心安全に暮らせる社会の実現のための備後圏域の取組の方向性を決めました。この方向性に沿って、他市の取組を参考にしながら本市に応じた取組を進めていきます。</p>
--	--

	<p>該当箇所</p>	<p>—</p>
<p>22</p>	<p style="text-align: center;"><b>意見</b></p> <p>私は図書館が大好きで週 3、4 回位お世話になってます。</p> <p>じっくり本を読んだり、レポートや手紙を書いたり…家で集中力がすぐ切れてしまうので、高校の時から夏休みなどは午前中、家で午後は図書館で、てなカンジでヘビーユーザーです。そこで困ることが 2 つあります。</p> <p>I 中央図書館</p> <p>①毎年 2 月に 10 日位本の整理、という事で閉館してしまいます。急ぎのレポートがこれにかかるかとホント困る。それでなくても受験シーズン真只中。受験生さんにとっても気の毒です。私みたいな家でやりづらい人のため、本の貸し出ししなくていいから、自習室を開けて、とか、旧図書館を使わせて (21 年ごろ投票所として使ってた) とかいろいろ毎年図書館アンケートに書いてる。</p>	<p style="text-align: center;"><b>市の考え方</b></p> <p>中央図書館の蔵書点検による休館についてですが、蔵書点検は、図書館の資料が登録されているデータと一致しているかどうか、また、資料が所定の位置に配架されているかなどを確認する作業です。これは、図書館の資料を適正に管理し、利用者の方々に快適に図書館を利用させていただくためには欠かせない作業になります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。</p> <p>令和 6 年度は、休館期間を大学入学共通テストに影響の少ない日を選んで、令和 7 年 2 月 28 日から 3 月 9 日とし、この間、定員 50 名のペアシティ三原西館 4 階の第 2 教養娯楽室を学習室として、毎日 9 時から 21 時まで利用していただけるようにしました。今後も引き続き、休館期間中の学習室を用意していきたいと考えています。</p>

	<p>「今年はラフラブを使って」と貼ってあったので行ってみると、4人掛けのテーブルが、4つ。1つ空いてたけど、私が1人であそこに座ったら本当にかんぱりたい学生さんに悪いなあ、とあきらめました。</p> <p>最近とある用事で市役所の3F301号302号室を使わせてもらったのですが「まあ！こんなステキな部屋いったい誰の？」って思っちゃったんです。市長さんのでも、市役所職員のものでもなく、市民みんなのですよね。</p> <p>1Fの戸籍なんかの所しか行ったことがなかったの、シックなジュータンで広々きれいな部屋にカンドーしました。他にもめったに使わない部屋があるのかな。市役所建て替えるの税金のムダ、とかギャーギャーもめてたのも夢のあと。大金投入して造った、こんなステキな建物、もっと市民に使わせて下さいよ。私、40年近く一般の方より多めに市税払ってるんですよ。来年の2月ヨロシクお願いします。</p> <p>ていうか、毎月第1火よう図書館休みなので使わせてほしい。</p> <p>もっと市民に開かれた市役所にして。学生さんにも社会人にも喜ばれますよ。</p>		<p>市役所の会議室のうち、市主催の行事が無い日(時間)に限り、次のとおり会議室を休憩室として無料開放していますので、ご利用ください。(事前に会議室の空き状況をお知りになりたい場合は、総務課までお問い合わせください。)</p> <p>開放している会議室及び開放時間</p> <p>8階の会議室 801・802 ……開庁日の8時30分から17時15分まで</p> <p>2階の会議室 201 ……開庁日の12時から13時まで</p> <p>また、上記会議室は市の事務及び事業に支障の無い範囲で、閉庁日には有料で貸出しています。貸出条件等もありますので、詳しくは市ホームページでご確認ください。</p>
23	<p>該当箇所</p> <p>—</p>	<p>意見</p> <p>②車で図書館、来てるけど、2hしか無料にしてもらえない。今日は3hは、かかるな、という時はイオンに置かせてもらって帰りに買い物するとか、旧図書館南側の駐車場に置かせてもらってる。2hをオーバーすると、1hに200円。せめて100円できれば50円にしたら、ちゃんと払って利用したいです。</p>	<p>市の考え方</p> <p>図書館利用にかかる駐車は、周辺店舗等ではなく、隣の契約駐車場を適正に利用していただきますよう、お願いします。なお、2時間という無料時間の設定は、図書館での一般的な滞在時間を考慮したもので、長時間駐車抑制や、多くの利用者が駐車スペースを利用できるようにするためです。ご理解をお願いします。また、駐車料金については、民間駐車場を契約しているため値下げすることは困難です。</p>
24	<p>該当箇所</p> <p>—</p>	<p>意見</p> <p>II 本郷図書館</p> <p>その点、本郷図書館は無料駐車場がいいですね。15年ぶりに行ったら、かなり古ぼけてました。(中央図書館と比べたら仕方ないけど)窓ぎわのジュータンの色あせは、目をつむっても、スリッパにはき替えるのはもう止めてほしい。私は夫の水虫、うつらんよう気をつけていたけど、数年後にうつってしまった。(再発して治療中) 友人の長靴借りたら水虫うつ</p>	<p>市の考え方</p> <p>本郷図書館のスリッパへの履き替えの廃止については、検討します。また、密閉できる容器の飲み物の利用については、熱中症対策などの観点から、令和7年5月中を目途に可能とする予定です。</p>

	<p>た、という話もきいた。年にとって免疫力落ちるとうつりやすいから、衛生上もうやめてほしい。スリッパも、はき替え所のしきものもボロボロです。</p> <p>飲み物禁止もやめてほしい。中央図書館みたいに“密閉できる飲み物OK”にしてください。夏は脱水症予防、秋冬は便秘予防、脳こうそく予防で年中マイボトル持ち歩いています。ウン十年前のルール刷新。</p>	
	<p>該当箇所</p>	<p>—</p>
<p>25</p>	<p style="text-align: center;"><b>意見</b></p> <p>Ⅲ 大和町はとむぎ加工所について</p> <p>大和町のハトムギ茶。お茶としてはちょっと高いけど、肌あれが気になる時、ちょこちょこ買ってます。</p> <p>30年ほど前、幼児だった娘の指先に小さなイボができて、病院へ行って薬で焼いてもらっても別の所に次のが出てきてモグラたたき状態になって、イボコロリ1本使いきっても同じ。どうしたら…と困ってたら“ハトムギ茶いいらしいよ”と聞いて、毎日煎じて飲ませたら、2袋目に入った頃スッ〜と治って家中みんなで喜んだ。</p> <p>次女は虚弱で梅雨明け前に小学校のプールが始まると必ず次の日は学校行けない。3才からスイミングスクールに行ってるので水泳は得意で好きなのでどうしても小学校のプールは見学できない、という。</p> <p>なのでなんとかかじょうぶにならないか、と漢方やら薬膳やら色々勉強してみると雑穀ごはんが良らしい。今でも押し麦、ひえ、あわ、そば、アマランサス、キヌアなどその時々で手に入れやすい物を五分づき米に混ぜて炊いている。</p> <p>そこで、日常的に楽にハトムギを食べたいので、カラむきのハトムギの実を4分割にした、米と混ぜてすぐ炊けるのを商品化して売ってほしい、と道の駅やJA やっさ市場でメモに書いて出してるんですが、どうやら、そのマシンを持っておられないようです。ハトムギはとっても漢方で重用されていて三原の特産物としてもっとPRすべき品です。是非ハトムギ4分割マシンを買ってあげてください。</p> <p>これからますます高齢化社会となり医療費もかさんでいくでしょう？セルフメディケーションにはげみたい人は多いと思うんです。私みたいに。大和町の至宝のハトムギ商品をライ</p>	<p style="text-align: center;"><b>市の考え方</b></p> <p>本市においては、市内の1次産業で生産される農水畜産物へ新たな付加価値を創出し、販売することで、1次産業者の所得向上及び将来にわたり持続・発展する1次産業を構築するための6次産業化支援事業費補助事業を設けています。</p> <p>現在、ハトムギの生産者から本補助事業の活用についての要望等は把握していませんが、補助事業の要件等を満たすものであれば支援は可能と考えています。</p>

	<p>ンアップ強化して作付面積も増やせるし、就業人数も増やせる、で少しでも町の発展につながると思います。</p> <p>どこぞの市議さんが、三原は金欠ではない、余分のお金持ってる、とか今回の選挙で申されてましたが、もし本当なら大和町のハトムギ産業活性化のために使って下さい。お願いします。</p> <p>ハトムギはお米ほどは手がかからないと聞いてます。高齢の農家さんにやさしいかも。国産穀物を増やして少しでも米不足をやわらげ、食料自給率を上げるのに役立つと思います。これは国家の安全保障になるかも。</p>	
	<p>該当箇所</p>	<p>—</p>
<p>26</p>	<p style="text-align: center;"><b>意見</b></p> <p>私は〇〇の楽園、とかポツンと1軒家、みたいな番組よく見てるんですが、都会で疲れていつか田舎暮らししたいな、と思ってる人けっこういるようですね。加えて今、色々な婚活がはやってますでしょ？</p> <p>「大和町でハトムギ作ってみませんか、バスツアー」とか（種まき、草とり、刈り入れなどで年3、4回来てもらおう）、「町営住宅借り上げで2年間ハトムギ作り生活してみませんか」など、30代、40代の人向けに都会、SNS、などでPRしてみるのも面白いかも。ダメモトでいいから色々手を打ってみましようよ、子育て支援課のみなさん！</p>	<p style="text-align: center;"><b>市の考え方</b></p> <p>三原市では、市内で結婚希望者の支援活動に携わる地域ボランティアである「三原市縁結びサポーター」と連携し、様々な婚活イベントを企画・運営しています。</p> <p>ご提案いただいたような、本市の地域資源を活かしたイベントなども含め、引き続き、結婚希望者のニーズに寄り添った企画を検討・実施していきます。</p>